

御園小学校・名城小学校
小規模校対策
2校合同検討委員会ニュース

第2号

発行日：平成31年4月12日

第2回会議

日時：平成31年3月18日（月）10時～12時

会場：名城小学校 会議室

《第2回会議で話し合われた内容と決定事項等》

- ◆検討委員会で検討する内容について、第1回会議に引き続いて、話し合いを行いました。
⇒検討事項(統合の合意事項)については、校名、通学の安全対策、校章、校歌をどうするかを議論し、必要な内容を合意書に書くこととなりました。
- ◆統合校の工事方法と開校時期について、工事スケジュールを考えながら話し合いました。
⇒(終了時間となったため、次回以降の会議で引き続き検討することとなりました。)

1 検討委員会における検討事項及び今後の進め方について

- 具体的な検討内容、決定方法、決定が必要な時期、スケジュールについて、教育委員会で整理した資料を示して、検討事項を何にするか、各項目について話し合いました。

主な質問や発言(☆各委員からの発言 ⇒事務局からの説明)

「校名」について

- ☆名城小は校名が決まらなると統合に合意はできない。PTAの会議で意見を聞いたが、名城小の校名や校章等が変わるというイメージはもっていない。
- ☆校名を検討事項に入れることで、統合時期が早くなるなら検討しても良いと思うが、検討委員会の議論がスムーズに進まなくなるのではないか。
- ☆なごや小の統合の時の校名の決め方と校名決定のタイミングはいつか。
⇒なごや小の例では、保護者、地域に公募した上で、検討委員会で協議して決定した。統合の合意後、5か月くらいの時間をかけて校名を決定した。
- ☆統合とは吸収合併ではなく、新しい学校をつくっていくものと認識していたがどうなのか。
⇒どちらかの学校を吸収するのではなく、校名や校章、校歌等を新しくして、新たな学校を創設する考え方が原則。ただし、両校とも伝統のある学校なので、お互いに議論して納得できるのなら、例えば「名城御園小学校」のように、今の校名を残すこともありえると思う。
- ☆この会で校名を決定するかどうかは話し合うとして、校名は議論することで良いか。(議長)
(異議なし)

「通学の安全対策」について

- ☆御園小から名城小に通学するのに、スクールバスを走らせることを要望できるのか。
⇒小学校の通学距離は2km以内が目安。御園小から名城小の通学距離は、最長でも2km以内のため、スクールバスを走らせることは考えられない。
- ☆警察等に要望する内容は、統合校の開校までに実現するのか。危険なままでは納得できない。
⇒タイミングによるが早めに要望しないと、開校までに実現が難しい可能性もある。なごや小は開校までの時間もあったため、対策は実現した。皆様と共に我々も鋭意要望をしていく。
- ☆御園小にとって通学の安全は重要な問題。御園小は人数が少ないので、現在、通学分団がない。
検討委員会と学校とでしっかりと検討して、十分な通学の安全対策を取ってもらいたい。
- ☆通学の安全対策は、警察や土木事務所への要望事項ではあるが、この検討委員会の合意内容として検討することでよいか。(議長)
(異議なし)

「検討全般」について

☆検討委員会での検討項目、すなわち統合の合意事項を最初に決めるのではなく、それぞれの項目をまずは議論しないと、何を合意事項とすべきか判断ができない。話し合った上で、必要であれば統合の合意事項として、合意書に盛り込めばよいのではないか。

☆校名、通学の安全対策、校章、校歌について、検討委員会の検討課題とし、統合があまりに遅くなることの無いような意識を持ちながら、まず話し合いをしていくことで良いか。(議長)(異議なし)

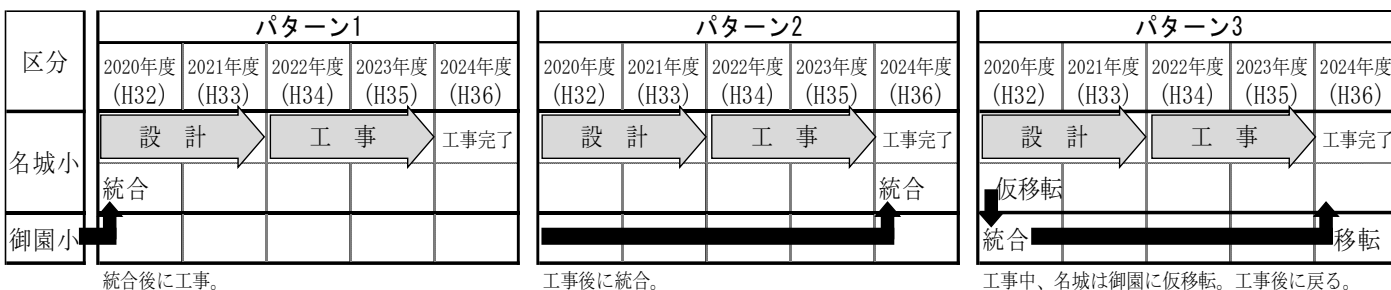
⇒多くの項目を検討するので、来年(2020年)4月の開校は間に合わない可能性もありえる。

2 統合地を名城小とした場合の整備手法について

○整備手法は、名城小の現在の校舎を生かして、大規模な工事を行う「リニューアル改修」になることを事務局から説明しました。

○開校時期は、工事スケジュールを踏まえた3つのパターンを説明し、検討を行いました。

※仮に2019年(H31)9月頃までに統合に合意した場合



主な質問や発言(☆各委員からの発言 ⇒事務局からの説明)

☆名城小としては、パターン③ではなく、パターン①か、パターン②が現実的と思う。

☆学校を新築するのではなく、改修にする理由は何か。

⇒名城小には、統合後のクラス数を受け入れる教室の数が十分あることと、市では校舎を80年間使用の方針で、名城小は築年数が40年弱のため、新築ではなく改修としたい。

☆パターン②であれば、2024年4月まで御園小は今の場所のままか。その場合なら、いろいろな事をゆっくりと考えることができるのではないか。

⇒パターン②はそのようなケースである。ただ、教育委員会としては、子どもたちのことを考えると少しでも早い統合が必要と考えている。

☆なぜ、設計と工事に4年間もかかるのか。

⇒建物の構造上の調査等を行う必要があり設計に2年は必要。工事は、仮設校舎を出しながら、校舎、体育館と順次進めるので、状況によって2年、3年と時間がかかる可能性がある。

◆次回の会議について

日時：5月20日(月)午前10時～12時 会場：御園小 会議室

内容：統合地を名城小とした場合の整備手法、校名、通学安全等

※傍聴を希望される方は、5月17日(金)の17時30分までに住所、氏名を事務局までご連絡ください。(定員10名、先着順受付。御園学区、名城学区以外の方はご遠慮ください。)

◆小規模校対策2校合同検討委員会の内容等について

検討委員会の資料やニュース等は、市のホームページからご覧いただけます。

<http://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000112879.html>



◆お問い合わせ先(事務局)

皆さまからのご意見やご質問を受け付けています。EメールまたはFAXでお寄せください。

名古屋市教育委員会事務局総務部教育環境計画室

Eメール：a3226@kyoiku.city.nagoya.lg.jp FAX：052-972-4176 TEL：052-972-3282